

## ◇研究主題

未来を創る「探究心」のある児童の育成  
～カリキュラム・マネジメントを通じた「SDGs」の探究～

## ◇目指す児童像

- ①自ら課題を発見し、課題解決に向けた粘り強い探究活動を通して、自分の考えを発信することができる児童（たくましい子）
- ②『誰一人取り残さない心』で協働的な学びを通して、自分も他人も大切にできる児童（心豊かな子）

## ◇研究仮説

- ①「探究的な学習」の学習方法を確立し、適切な「学習環境」があれば、探究心のある児童を育成することができるであろう。
- ②「SDGs」の探究を通して、自分たちで何ができるかを考える学習を行えば、探究心のある児童を育成することができるであろう。



## ◇事業実施による期待される効果

### (数値的な変化)

- 全国学力・学習状況調査の児童質問紙「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 全国学力・学習状況調査の児童質問紙「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）」「学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか」「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか」の各質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 全国学力・学習状況調査の児童質問紙「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 埼玉県学力・学習状況調査の児童質問紙「自分にはよいところがありますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 埼玉県学力・学習状況調査の児童質問紙「むずかしいことでも失敗をおそれないで挑戦しようとしていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 埼玉県学力・学習状況調査の児童質問紙「先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。

### ○ 学校全体の変容（数値的な変化・質的な変化） （質的な変化）

- 探究的な学習を推進することにより、主体的・対話的で深い学びの実現につながる。
- 児童、教職員、保護者、地域に「SDGs」が浸透する。



### (数値的な変化)

- 全国学力・学習状況調査の学校質問紙「児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 全国学力・学習状況調査の学校質問紙「調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 全国学力・学習状況調査の学校質問紙「教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか」の質問項目において肯定的な回答の割合が8割以上になるようにする。
- 埼玉県学力・学習状況調査の学校質問紙「教科等を相互に関連付けて思考力・判断力・表現力等を育む指導について、教職員で共通理解を図りましたか」の質問項目において肯定的な回答の割合が9割以上になるようにする。

### ○ その他

- 学校、家庭、地域の連携が深まる。

# カリキュラム・マネジメント

小学校学習指導要領第1章総則の第1の4において次の3つの側面が示されている。

- ①内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

## ①教科等横断的な視点

総合的な学習の時間を軸としたカリキュラム・マネジメント(例)

### 各教科単元配列表5年

学年	国語	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
1学期	1 かなごころの音 2 かなごころの音 3 かなごころの音 4 かなごころの音 5 かなごころの音 6 かなごころの音 7 かなごころの音 8 かなごころの音 9 かなごころの音 10 かなごころの音	1 数のつらき 2 数のつらき 3 数のつらき 4 数のつらき 5 数のつらき 6 数のつらき 7 数のつらき 8 数のつらき 9 数のつらき 10 数のつらき	1 身のまわりのこと 2 身のまわりのこと 3 身のまわりのこと 4 身のまわりのこと 5 身のまわりのこと 6 身のまわりのこと 7 身のまわりのこと 8 身のまわりのこと 9 身のまわりのこと 10 身のまわりのこと	1 歌のつらき 2 歌のつらき 3 歌のつらき 4 歌のつらき 5 歌のつらき 6 歌のつらき 7 歌のつらき 8 歌のつらき 9 歌のつらき 10 歌のつらき	1 図画のつらき 2 図画のつらき 3 図画のつらき 4 図画のつらき 5 図画のつらき 6 図画のつらき 7 図画のつらき 8 図画のつらき 9 図画のつらき 10 図画のつらき	1 生活のつらき 2 生活のつらき 3 生活のつらき 4 生活のつらき 5 生活のつらき 6 生活のつらき 7 生活のつらき 8 生活のつらき 9 生活のつらき 10 生活のつらき	1 運動のつらき 2 運動のつらき 3 運動のつらき 4 運動のつらき 5 運動のつらき 6 運動のつらき 7 運動のつらき 8 運動のつらき 9 運動のつらき 10 運動のつらき	1 外国語のつらき 2 外国語のつらき 3 外国語のつらき 4 外国語のつらき 5 外国語のつらき 6 外国語のつらき 7 外国語のつらき 8 外国語のつらき 9 外国語のつらき 10 外国語のつらき	1 道徳のつらき 2 道徳のつらき 3 道徳のつらき 4 道徳のつらき 5 道徳のつらき 6 道徳のつらき 7 道徳のつらき 8 道徳のつらき 9 道徳のつらき 10 道徳のつらき	1 総合のつらき 2 総合のつらき 3 総合のつらき 4 総合のつらき 5 総合のつらき 6 総合のつらき 7 総合のつらき 8 総合のつらき 9 総合のつらき 10 総合のつらき	1 特別活動のつらき 2 特別活動のつらき 3 特別活動のつらき 4 特別活動のつらき 5 特別活動のつらき 6 特別活動のつらき 7 特別活動のつらき 8 特別活動のつらき 9 特別活動のつらき 10 特別活動のつらき
2学期	11 かなごころの音 12 かなごころの音 13 かなごころの音 14 かなごころの音 15 かなごころの音 16 かなごころの音 17 かなごころの音 18 かなごころの音 19 かなごころの音 20 かなごころの音	21 数のつらき 22 数のつらき 23 数のつらき 24 数のつらき 25 数のつらき 26 数のつらき 27 数のつらき 28 数のつらき 29 数のつらき 30 数のつらき	31 身のまわりのこと 32 身のまわりのこと 33 身のまわりのこと 34 身のまわりのこと 35 身のまわりのこと 36 身のまわりのこと 37 身のまわりのこと 38 身のまわりのこと 39 身のまわりのこと 40 身のまわりのこと	41 歌のつらき 42 歌のつらき 43 歌のつらき 44 歌のつらき 45 歌のつらき 46 歌のつらき 47 歌のつらき 48 歌のつらき 49 歌のつらき 50 歌のつらき	51 図画のつらき 52 図画のつらき 53 図画のつらき 54 図画のつらき 55 図画のつらき 56 図画のつらき 57 図画のつらき 58 図画のつらき 59 図画のつらき 60 図画のつらき	61 生活のつらき 62 生活のつらき 63 生活のつらき 64 生活のつらき 65 生活のつらき 66 生活のつらき 67 生活のつらき 68 生活のつらき 69 生活のつらき 70 生活のつらき	71 運動のつらき 72 運動のつらき 73 運動のつらき 74 運動のつらき 75 運動のつらき 76 運動のつらき 77 運動のつらき 78 運動のつらき 79 運動のつらき 80 運動のつらき	81 外国語のつらき 82 外国語のつらき 83 外国語のつらき 84 外国語のつらき 85 外国語のつらき 86 外国語のつらき 87 外国語のつらき 88 外国語のつらき 89 外国語のつらき 90 外国語のつらき	91 道徳のつらき 92 道徳のつらき 93 道徳のつらき 94 道徳のつらき 95 道徳のつらき 96 道徳のつらき 97 道徳のつらき 98 道徳のつらき 99 道徳のつらき 100 道徳のつらき	101 総合のつらき 102 総合のつらき 103 総合のつらき 104 総合のつらき 105 総合のつらき 106 総合のつらき 107 総合のつらき 108 総合のつらき 109 総合のつらき 110 総合のつらき	111 特別活動のつらき 112 特別活動のつらき 113 特別活動のつらき 114 特別活動のつらき 115 特別活動のつらき 116 特別活動のつらき 117 特別活動のつらき 118 特別活動のつらき 119 特別活動のつらき 120 特別活動のつらき

国語  
マイナス▽10時  
社会  
マイナス▽5時間

総合  
プラス▲15時間

### 5年の授業時数の弾力化の例

教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる。

【削減する時間例】

- ▽国語の単元内の「インタビューをして情報収集」、終末部分の「まとめ・発表」などの時間
- ▽社会の「森林」「食料生産」「情報収集・情報整理」などの時間

【増加する時間】

- ▲総合の「体験的な学習」「インタビュー」「情報収集・整理分析」「発表」などの時間

# <標準時数と本校の時数>

( )が本校の時数 ▼時数減 ▲時数増

区分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科 の授業 時数	国語	306 ▼15 (291)	315 ▼15 (300)	245 ▼10 (235)	245 ▼10 (235)	175 ▼10 (165)	175 ▼15 (160)
	社会			70 ▼5 (65)	90 ▼5 (85)	100 ▼5 (95)	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102 ▲15 (117)	105 ▲15 (120)				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭 体育					60	55
道徳の授業時数	34	35	35	35	35	35	
外国語活動の 授業時数					35	35	
総合的な学習の 時間の授業時数			70 ▲15 (85)	70 ▲15 (85)	70 ▲15 (85)	70 ▲15 (85)	
特別活動の 授業時数	34	35	35	35	35	35	
総授業時数	850	910	945	980	980	980	



# <年間指導計画へのSDGsの位置付け>

年間指導計画にSDGsのアイコンを入れることで、SDGsへの意識づけと、17の目標を見える化することができる。本時の課題づくりや教材づくりの材料とする。

(5年生の例)

令和5年度(2023年度)「新しい社会」(第5学年) 年間指導計画(単元一覧表)

月	学期	単元名	時数	小単元名	学習指導要領の内容	教科書のページ			
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	1 学期 ( 29 時間 )	1. わたしたちの国土 20時間→19時間  ※あたたかい土地のくらし／寒い土地のくらし (選択) 【-1時間】  ★他教科との関連: 外国語, 算, 理	1	導入(オリエンテーション)	(1)	上	6~7		
			4	1 世界の中の国土	(1)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)		8~15		
			3	2 国土の地形の特色	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)		16~21		
			5	3 低い土地のくらし／ 高い土地のくらし(選択)	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)		22~31/ 32~39		
			3	4 国土の気候の特色	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)		42~47		
			3	5 あたたかい土地のくらし／寒い土地 のくらし(選択)	(1)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)		48~55/ 56~63		
			1	2. わたしたちの生活と食料 生産 25時間 → 24時 間 ※これからの食料生産とわ たしたち 【-1時間】  ★他教科との関連: 算, 家庭	1		導入(オリエンテーション)	(2)	66~67
			4	1 くらしを支える食料生産	(2)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)		68~75		
			8	2 米づくりのさかんな地域	(2)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)		76~93		
	2 学期 ( 41 時間 )	3. わたしたちの生活と工業 生産 21時間 → 20時間  ※これからの工業生産とわ たしたち 【-1時間】  ★他教科との関連:算, 国	7	3 水産業のさかんな地域	(2)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)	96~109			
			4	4 これからの食料生産とわたしたち	(2)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)	114~123			
			1	導入(オリエンテーション)	(3)	2~3			
			3	1 くらしを支える工業生産	(3)ア-(ア)(エ), イ-(ア)	4~9			
			7	2 自動車をつくる工業	(3)ア-(イ)(エ), イ-(イ)	10~23			
			5	3 工業生産を支える輸送と貿易	(3)ア-(ウ)(エ), イ-(ウ)	36~45			
			4	4 これからの工業生産とわたしたち	(3)ア-(ア)(エ), イ-(ア)	46~55			
			後 期 ( 52 時間 )	4. 情報化した社会と産業 の発展 16時間 → 15時間  ※情報を生かすわたしたち 【-1時間】	1	導入(オリエンテーション)	(4)	56~57	
					5	1 情報産業とわたしたちのくらし	(4)ア-(ア)(ウ), イ-(ア)	58~69	
5	2 情報を生かす産業	(4)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)			74~83				
3 学 期 ( 25 時間 )	5. わたしたちの生活と環境 18時間→17時間  ※わたしたちの生 活と森林 【-1時間】 ★他教科との関連:理	4	3 情報を生かすわたしたち	(4)ア-(イ)(ウ), イ-(イ)	90~97				
		1	導入(オリエンテーション)	(5)	98~99				
		5	1 自然災害を防ぐ	(5)ア-(ア)(エ), イ-(ア)	100~111				
		5	2 わたしたちの生活と森林	(5)ア-(イ)(エ), イ-(イ)	112~123				
		5	3 環境を守るわたしたち	(5)ア-(ウ)(エ), イ-(ウ)	124~133				
		1	いかす(第5単元全体)	(5)	138~139				
合計			95						

## ②評価してその改善を図っていくこと

夏季休業中に1学期の指導を振り返り、ESDカレンダーの作成を行うようす

## ESDカレンダーとは

各学年ごとの目指す児童像を前提に、総合的な学習の時間を軸とし、教科等領域の相互の関連性を構造化していく。学校・地域の実態、教科書会社の違いを結びつけることで、効果的効率的な学びの羅針盤とすることを目的している。



## 各学年のESDカレンダー

### 1年生

瀬崎小 1年

SDGs  
15 陸の豊かさも守ろう  
12 つくる責任 つかう責任  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

育てたい児童の姿  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

教科	1学期	2学期	3学期
生活	1. 身のまわりの生活 (1)	2. 身のまわりの生活 (2)	3. 身のまわりの生活 (3)
国語	1. 国語 (1)	2. 国語 (2)	3. 国語 (3)
算数	1. 算数 (1)	2. 算数 (2)	3. 算数 (3)
理科	1. 理科 (1)	2. 理科 (2)	3. 理科 (3)
社会	1. 社会 (1)	2. 社会 (2)	3. 社会 (3)
総合	1. 総合 (1)	2. 総合 (2)	3. 総合 (3)
道徳	1. 道徳 (1)	2. 道徳 (2)	3. 道徳 (3)
特別	1. 特別 (1)	2. 特別 (2)	3. 特別 (3)

### 2年生

瀬崎小 2年

SDGs  
12 つくる責任 つかう責任  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

育てたい児童の姿  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

うさぎくわいのおひめのおもちゃ

教科 1学期 2学期 3学期

教科	1学期	2学期	3学期
生活	1. 生活 (1)	2. 生活 (2)	3. 生活 (3)
国語	1. 国語 (1)	2. 国語 (2)	3. 国語 (3)
算数	1. 算数 (1)	2. 算数 (2)	3. 算数 (3)
理科	1. 理科 (1)	2. 理科 (2)	3. 理科 (3)
社会	1. 社会 (1)	2. 社会 (2)	3. 社会 (3)
総合	1. 総合 (1)	2. 総合 (2)	3. 総合 (3)
道徳	1. 道徳 (1)	2. 道徳 (2)	3. 道徳 (3)
特別	1. 特別 (1)	2. 特別 (2)	3. 特別 (3)

### 3年生

瀬崎小 3年 「すざいぞ/算知」

SDGs  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
11 住み続けられるまちづくりを  
15 陸の豊かさも守ろう

育てたい児童の姿  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

教科 1学期 2学期 3学期

教科	1学期	2学期	3学期
国語	1. 国語 (1)	2. 国語 (2)	3. 国語 (3)
社会	1. 社会 (1)	2. 社会 (2)	3. 社会 (3)
算数	1. 算数 (1)	2. 算数 (2)	3. 算数 (3)
総合	1. 総合 (1)	2. 総合 (2)	3. 総合 (3)
理科	1. 理科 (1)	2. 理科 (2)	3. 理科 (3)
道徳	1. 道徳 (1)	2. 道徳 (2)	3. 道徳 (3)
特別	1. 特別 (1)	2. 特別 (2)	3. 特別 (3)

### 4年生

瀬崎小 4年

SDGs  
3 持続可能な社会を築こう  
10 人や国の不平等をなくそう

育てたい児童の姿  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

「福祉ってなに？」  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

教科 1学期 2学期 3学期

教科	1学期	2学期	3学期
国語	1. 国語 (1)	2. 国語 (2)	3. 国語 (3)
社会	1. 社会 (1)	2. 社会 (2)	3. 社会 (3)
算数	1. 算数 (1)	2. 算数 (2)	3. 算数 (3)
理科	1. 理科 (1)	2. 理科 (2)	3. 理科 (3)
道徳	1. 道徳 (1)	2. 道徳 (2)	3. 道徳 (3)
特別	1. 特別 (1)	2. 特別 (2)	3. 特別 (3)

### 5年生

瀬崎小 5年

SDGs  
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
13 気候変動に具体的な対策を

育てたい児童の姿  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

地球に耳をかたむけて  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

教科 1学期 2学期 3学期

教科	1学期	2学期	3学期
国語	1. 国語 (1)	2. 国語 (2)	3. 国語 (3)
社会	1. 社会 (1)	2. 社会 (2)	3. 社会 (3)
算数	1. 算数 (1)	2. 算数 (2)	3. 算数 (3)
理科	1. 理科 (1)	2. 理科 (2)	3. 理科 (3)
道徳	1. 道徳 (1)	2. 道徳 (2)	3. 道徳 (3)
特別	1. 特別 (1)	2. 特別 (2)	3. 特別 (3)

### 6年生

瀬崎小 6年

SDGs  
11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任 つかう責任

育てたい児童の姿  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

「共に考えよう」豊かでの未来  
＜育てたい児童の姿＞  
自然に命があることを理解し、愛情をもつ児童。  
育てる物 生き生き児童。

教科 1学期 2学期 3学期

教科	1学期	2学期	3学期
国語	1. 国語 (1)	2. 国語 (2)	3. 国語 (3)
社会	1. 社会 (1)	2. 社会 (2)	3. 社会 (3)
算数	1. 算数 (1)	2. 算数 (2)	3. 算数 (3)
理科	1. 理科 (1)	2. 理科 (2)	3. 理科 (3)
道徳	1. 道徳 (1)	2. 道徳 (2)	3. 道徳 (3)
特別	1. 特別 (1)	2. 特別 (2)	3. 特別 (3)

### ③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

## ホールスクールアプローチⅡ



関係機関・役職名	氏名
国連システム合同監査団 監査官 ジェネーブ国連本部に赴任(前:国際連合日本政府代表部大使) 大阪大学大学院国際公共政策研究科 教授	星野 俊也 様
全国小中学校環境教育研究会 顧問(前:東京都多摩市立連光寺小学校 校長)	棚橋 乾 様
埼玉県総合教育センター指導主事	浅見 寿文 様
JICA 地球ひろば	佐藤 秀樹 様
元ボリビア海外青年協力隊	渡辺 彩子 様
元ボリビア海外青年協力隊	山崎 麻里亜 様
現ボリビア海外青年協力隊	能地 尚子 様
草加市立稲荷小学校 教頭(前:草加市教育委員会指導課教育指導係長)	伊藤 真由美 様
草加市教育委員会指導課主査(兼)指導主事	溝井 俊裕 様
草加市役所自治文化部 みんなでまちづくり課 所長	間宮 友子 様
協働のひろば市民事務局	青柳 伊佐雄 様
友隣会	後藤 一彦 様
高砂住吉中央地区まちづくり市民会議	谷古宇 隆一 様
NPO法人 子ども広場草加おやこ劇場	三澤 江津子 様
介護者支援の会 草加	酒井 斉 様
草加ローカルプロジェクト	安保 幸子 様
草加市ユニバーサルデザインアドバイザー	齋藤 幸子 様
草加市ユニバーサルデザインアドバイザー	青木 喬 様
総合政策部総合政策課課長補佐	夢田 章吾 様
総合政策部総合政策課主査	堀込 俊樹 様
総合政策部総合政策課主任	日高 恵 様
総合政策部副部長(建築統括担当)	唐澤 博文 様
総合政策部庁舎建設室室長	金子 友弘 様
総合政策部庁舎建設室主査	牛山 博昭 様
議会事務局総括担当主査	浅井 悠太 様
議会事務局書記	中村 聡 様





関係機関・役職名	氏名
草加あおぞら保育園	榎本 千尋 様
草加せざき保育園	石野 理津子 様
獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ 教授	米山 昌幸 様
獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ	島田 隼人 様
獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ	菅野 琴音 様
獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ	野崎 裕矢 様
獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ	松森 智久 様
獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ	吉澤 涼 様
獨協大学外国語学科准教授	羽山 恵 様
UDダンス	北村 仁 様
UD推進講師(株式会社アークポイント)	寺島 薫 様
児童文学作家(おはなしSDGs「 飢餓をゼロに 走れトラック、ねがいのをせて」)	森埜 こみち 様
草加せんべい大馬屋	鈴木 弘道 様
草加せんべい小宮	小宮 務 様
セブンイレブン瀬崎1丁目店	北邑 英司 様
草加市文化観光課	吉田 蔵馬 様
草加市スポーツ健康都市記念体育館	藤掛様・荒井様
草加市役所 環境課	田端様・徳留様
谷塚児童センター 館長	川端 充 様
子ども食堂(こども応援団マイカ)	浜藺 浩美 様
就労継続支援B型あるる	黒子 志信 様



その他協力企業・団体・行政機関様
瀬崎小学校PTAの皆様
瀬崎小学校学校運営協議会の皆様
草加市民生委員の皆様
進栄化成株式会社(エコキャップ運動 協力企業)
草加あおぞら保育園 園児のみなさん
草加せざき保育園 園児のみなさん
ふれあい推進室の皆様
平成塾の皆様
草加市社会福祉協議会の皆様
瀬崎第1・2・3町会の皆様
瀬崎コミュニティセンターの皆様
瀬崎敬老会の皆様
埼玉県生態系保護協会の皆様
ふれあいひろば 瀬崎実行委員の皆様
青少年育成推進委員会の皆様



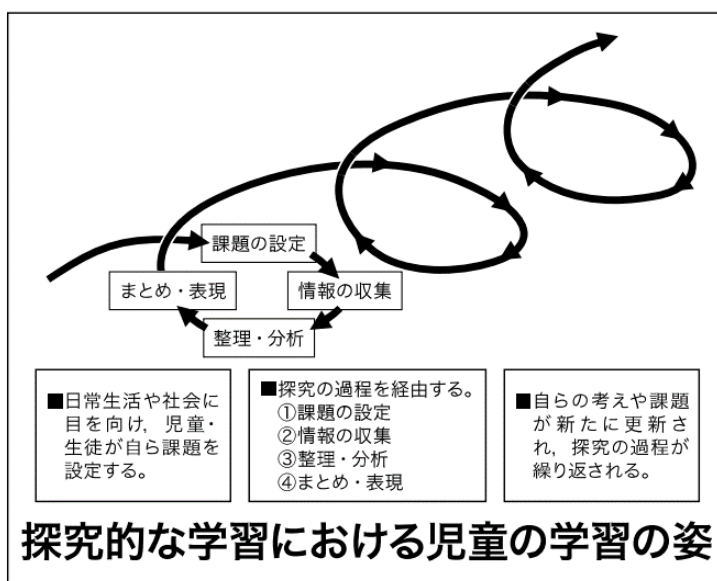
この他にもたくさんの方々にご協力いただいております。ご協力に感謝申し上げます。また掲載順は順不同でございます。ご理解のほどお願いいたします。



# 探究的な学習の過程



- ①【課題の設定】 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ②【情報の収集】 必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③【整理・分析】 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④【まとめ・表現】 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する



文部科学省HPより  
「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」小学校編P19・20より



# 探究的な学習の指導のポイント

## 課題設定

- 人、社会、自然に直接関わる体験活動を重視し、学習対象との関わり方や出会わせ方などを工夫すること
- 事前に児童の発達や興味・関心を適切に把握すること
- これまでの児童の考えとの「ずれ」や「隔たり」、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせるように工夫すること

## 情報の収集

- 学習活動によって「数値化した情報」、「言語化した情報」、「感覚的な情報」など、収集できる情報の違いがあることを意識すること
- 課題解決のための情報の収集を自覚的に行うこと
- 収集した情報を適切な方法で蓄積すること
- 各教科等で身に付けた資質・能力を発揮して情報を収集すること

## 整理・分析

- ①児童自身が情報を吟味すること
  - ②どのような方法で情報の整理や分析を行うのかを決定すること
- ※「考えるための技法」を用いた思考を可視化する思考ツールの活用や各教科等との関連を図ることを意識する

## まとめ・表現

- 相手意識や目的意識を明確にしてまとめたり、表現したりすること
- 情報を再構成し、自分自身の考えや新たな課題を自覚できるようにすること
- 伝えるための具体的な方法を身に付け、目的に応じて選択して使えるようにすること
- 各教科等で身に付けた表現方法を積極的に活用すること

# 他者と協働的に学ぶということ



## 1 多様な情報を活用して協働的に学ぶ

体験活動等を通して、発見してきた情報を改めて見つめ直し、互いの発見の共通点や相違点に気付いたり、互いの発見の関連性を見付けたりする。「ここがもっと知りたくなった、詳しく調べてみたいということはないだろうか。」と更に問い掛けることで、「また探検に出かけてみたい。」「今度は詳しく調べてみたい」などと目的や課題を明確にしていくことができる。

## 2 異なる視点から情報の収集

異なる視点を出し合い、検討していくことで、事象に対する認識が深まり、学習活動をさらに探究的な学習へと高めていくことが考えられる。そのために、それぞれ異なる個性・興味・関心をもっている児童同士で学ぶことには大きな意義がある。

## 3 個人の学習の深まり

協働的に学ぶことは、児童が自らの学習活動を振り返り、持続させ発展させるとともに、一人一人の児童の考えを深め、自らの学習に対する自信と自らの考えに対する確信をもたせることにもつながる。この学習と集団の学習が互いに響き合うことに十分配慮し、質の高い学習を成立させることを目指す。

### ～主体的かつ協働的に～

児童が社会に出たときに直面する様々な問題のほとんどは、一人の力だけでは解決できないもの、協働することでよりよく解決できるものである。しかし、問題を自分のこととして、受け止め、よりよく解決するために自分が取り組もうとする主体性がなければ、協働は成り立たない。

文部科学省HPより  
「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」小学校編P20～23より

# 学年の取組



## 1年生

### 1 はじめに

生活科の学習は、具体的な活動や体験から、気付きの質を高め、生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指している。1年生では、カリキュラムマネジメントを行うことで、児童の体験活動の時間を確保し、更に、児童の気付きから、授業を展開していく工夫を行うことで、本校の目指す「粘り強い探究活動」と「協働的な学び」ができると考え、実践を行った。

### 2 これまでの取組

#### (1) 身近な自然での気付き

- 1年生は、毎年、一人一鉢の朝顔を育てる。種子から育てて、再び多くの種子ができるまで、継続して観察を行う。種子から種子までのサイクルに気付く他に、花で色水を作ったり、つるで、リースを作ったりと自然のもので遊ぶことができるという気付きがあった。昨年度は、「植木鉢に残った土は捨てるの。」という疑問から、「次のチューリップをそのまま植えてよいか。」という話し合いになり、それぞれが、見たり聞いたりしたことから意見を出し合い、「残っている土に、栄養になる、葉っぱの腐ったのと、よい菌と肥料をまぜてつかう。」という結論となった。子ども達は、自分の鉢の土に、それらを混ぜて、チューリップの球根を植えた。
- 学校の敷地にある木々の中から、自分の木を選び、「わたしの木・ぼくの木」として、季節ごとの観察を行った。タブレットを利用して、写真として記録を残すことで、子ども達は、自分の木の特徴や変化について見たままの様子で季節ごとに記録を残すことができた。
- 「いきものとなかよし」では、「むしムシ調査隊」として、学校にいる虫を調べた。虫を捕まえるのではなく、学校を住みかとしている虫たちの特徴を観察し、「なぜ、そこにいるのか。」等について、自分の考えを発表し合うことで、虫には、体や好む場所に違いがあることに気付いた。更に、時期を経て、再度、観察に行くことで、気温によっても見られる虫に違いがあることに、興味が広がっている。

#### (2) 「捨てるから創るへ」のあきまつり

- 生活科の「あきまつり」に向けては、「SDGs キッズのあきまつり」と題して、自然のものと、SDGsの学びを生かした、「あきまつり」の計画を立てる。交流会で、瀬崎小学校のことを紹介したせざき保育園の園児たちを招いて、秋という季節の良さと、祭りの楽しさを園児たちと共有するために、グループで試行錯誤しながら遊びを創り出す活動を行う。

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- 児童の考えによる土の植え替えは、期待と不安の両方の気持ちを児童に与え、朝顔の時よりも、更に、興味をもって観察に行くようになった。「今日は、〇〇さんの芽がでてました。」と喜び合う姿が見られ、最終的には、全員のチューリップが美しく咲き、自分たちの考えで育てたという達成感を味わうことができた。
- タブレットと絵日記をを併用して、観察に使用することで、友達に自分の思いを伝える時に、実際の写真を見せたり、指で指したりしながら、説明することができ、活動に広がりが見られた。

#### (2) 課題

- 児童の視点からの授業展開は、予定時間や準備しておいたことに変更が生じることがあり、時間や準備の調整が必要となる。



# 学年の取組

12 つくる責任  
つかう責任

17 パートナースHIPで  
目標を達成しよう

## 2年生

### 1 はじめに

生活科の学習は、直接体験から、気付きの質を高め、生活の質を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指している。2年生では、カリキュラムマネジメントを行うことで、児童の体験活動の時間を確保し、更に、児童の気付きから、授業を展開していく工夫を行うことで、本校の目指す「粘り強い探究活動」と「協働的な学び」ができると考え実践を行った。

### 2 これまでの取組

#### (1) 捨てるから創るへ

2年生は、身近にある物を使って学習したり遊んだりする活動を通して、学習や遊びに使う物を工夫して作り、児童が主体的に探究的な学習を行ってきた。

○生活科「生きものなかよし大きくせん」では、空き容器を活用して虫かごをつくり、自分で捕まえた昆虫をリサイクル虫かごの中で飼育観察することができた。どうしたら、昆虫が棲みやすい環境になるのか試行錯誤しながら観察する姿が見られた。

○算数科「水のかさのたんい」や、図画工作科「見つけたよ わたしのいろ水」では、ペットボトルやゼリーの空き容器を活用して順序立てて水のかさを比べたり、色水をつくったりしてその面白さや不思議さに気付くと共に楽しみながら探究的な活動を行うことができた。



#### (2) パートナースHIP

身近な人々と関わることの楽しさが分かるとともに、進んでふれあい交流し、共に学ぼうとする児童をめざして意図的に協働的な学びができる環境を設定してきた。

○1年生との学校探検（異年齢との交流）では、入学して間もない1年生を気づかいながら、上級生として学校内をしっかりと案内しようと思欲的に活動することができた。

○まちたんけん（他クラスとの交流）では、学年を3つのグループに分け、自分の行きたいコースを選び、様々な場所を見学する活動を通して、地域には様々な場所があり、様々な人がいて、関わりあいながら生活していることに気がつくことができた。



### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ・教科等横断的な学びができた。
- ・カリキュラムマネジメントを行うことで、他教科や他単元と関連させ児童にとって必然性のある学習ができた。
- ・SDGsを意識付けすることができた。

#### (2) 課題

- ・学びの連続…今年度限りの学習とするのではなく、継続して取り組んでいきたい。

# 学年の取組

9



11



15



## 3年生

### 1 これまでの取組

#### (1) 草加市の歴史、産業、自然・環境について情報収集

- ・インターネットや図書資料、市の発信している動画等を用いて、草加市の歴史、産業、自然・環境について情報収集を行った。
- ・町探検を通して、草加市の歴史、産業、自然・環境について、メモを取りながらの情報収集を行った。

#### (2) 草加市の歴史や産業、自然・環境に触れる体験学習

- ・5月に町探検をして、学校の周りがある歴史や産業、自然・環境について学習した。
- ・毛長川や伝右川のフィールドワークを通して、水質を調べたり、生き物を探したりして、自然や環境に触れ合った。
- ・綾瀬川（松並木）、旧日光街道散策をして、草加の歴史や自然について学んだ。
- ・歴史民俗資料館見学やせんべい焼き体験を通して、草加市の歴史や伝統産業について体験的な学習をした。



### 2 成果と課題

#### (1) 成果

- ・町探検やフィールドワーク等の体験によって、児童が草加市の歴史、産業、自然・環境を身近に感じ、主体的に活動に取り組むことができた。
- ・せんべい焼き体験を通して、伝統産業に携わる人々の努力や願いを感じ、発表内容が深まった。
- ・歴史民俗資料館見学を通して、調べ学習では学べなかったことを体験的に学習することができた。

#### (2) 課題

- ・学習発表の際、学年の発達段階を考慮した発表形式になっていたか。
- ・情報量が多くなり、情報を整理したり分析したりすることが難しい児童が多かった。

# 学年の取組

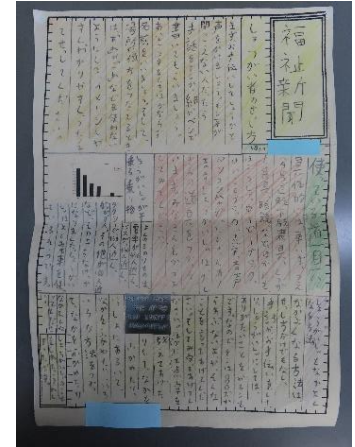


## 4年生

### 1 これまでの取組

#### (1) 福祉の学習と他教科との連携

国語科「新聞をつくろう」では、レイアウトを工夫して初めて新聞づくりを行い、効果的な表現方法として算数科で学習したグラフを用いた。完成した新聞を班の中で交流し、互いの新聞の良さを伝え合った。社会科「ごみはどこへ」「水はどこから」では、清掃工場や浄水場は公共の福祉を充実させるための施設であり、全ての人々に必要不可欠なものであるということを学習した。



#### 【車いす、アイマスク白杖体験】



二人一組になり、車いすで廊下や段差を移動する体験やアイマスクを着けて、介助者役の指示を聞きながら白杖を頼りに階段や廊下を歩いた。

#### 【障がい者スポーツ講座 (UDダンス) 体験】



講師を招き、手話でのコミュニケーションやUDダンスの体験を通して、障がい者を取り巻く日常やスポーツ環境について知り、関心をもった。

#### 【ユニバーサルデザイン講演会】



UD推進アドバイザーを招きユニバーサルデザインとは製品などが年齢、性別、体つき、文化の違いや障がいの有無にかかわらず、誰にとっても使いやすいデザインであることを学んだ。

#### 【敬老会での手話を用いた歌の披露】



福祉で学んだ手話をしながら歌った「翼をください」を日頃、お世話になっている敬老会の方々に感謝の気持ちを込めて披露した。

### 2 成果と課題

#### (1) 成果

これまでの学習を通して、福祉についての児童の関心が高まってきた。UD講演会の後に行った社会科見学では、最近できた清掃工場のUDとして工夫されている階段の二重の手すりや、低い位置にある多目的トイレの開閉ボタン等を見つけ、喜んでいた。一方、古い建物である浄水場では、階段が狭く、一段の段差も高く、手すりもないことに気づき、UDで建築することの良さ実感することができた。

#### (2) 課題

1学期に行った身体障がい者に対する学習は、児童にとって分かりやすく意欲的に学習に取り組むことができた。2学期になりより身近にある福祉についての学習を始めたが、児童にとっては身近な福祉について捉えにくく、イメージが難しいようだ。いかに身近な福祉に気づかせ、福祉を自分事として捉えさせていくかが今後の課題である。

### 1 これまでの取組

#### (1) 授業時数の弾力化に係る教科の関連について

各教科の弾力化を図り、総合的な学習の時間を多く設けて学習を進めた。総合的な学習の時間の中間発表会に向けて、国語科の『みんなが過ごしやすい町へ』を弾力化した。この単元では、「調べたことを正確に報告しよう」というねらいがある。報告する文章の構成を考えると、目的に応じて必要な資料を引用したり、写真や図表を用いたりして、自分の考えと区別して書くことを、中間発表会のスライド作成に活かした。

#### (2) 各団体との連携

保護者と連携し、南アメリカ大陸のボリビアにある学校の中高生と、オンラインで交流を行った。子どもたちがボリビアについて事前に調べた上で、疑問に思ったことを質問した。内容としては、ボリビアの食生活や、学校生活の様子、学校から帰った後の暮らしの様子、環境を考えて行っていることなどがあった。一方、ボリビアからの質問としては、日本の居住空間や道路の様子、自然との共存のしかた、学校で取り組んでいる環境に関する取組についてなどがあった。

普段触れることのできない国の人たちと直接的に交流をすることで、自分たちとは異なった環境や意識の違いを実感することができた。また、ボリビアの人たちとの交流を機に、その後の学習で視野が広がった。中間発表を終えて、「ほかの市町村」「ほかの都道府県」「ほかの国」「ほかの小学校」「ほかの企業」などに目を向けるようになった。環境問題についてどのように考え、どのような対策をとっているのかを調べていく活動につながった。

### 2 成果と課題

#### (1) 成果

- ・タブレットの活用を通して、タイピング能力やスライド作成などICT活用能力の向上を図ることができた。
- ・国語科の弾力化を通して、プレゼンテーション能力の向上を図ることができた。
- ・国語科の弾力化を通して、総合的な学習の時間で児童が自分たちで調べたいことを調べるための十分な時間を確保することができた。
- ・ボリビアとの交流という学習環境を整えたことで、「ほかの団体などはどうなのだろう」という探求心のある児童を育てることができた。
- ・中間発表に向けて協働的に活動したことを通して、自分や友だちの考えを受け入れる児童を育てることができた。
- ・埼玉県学力・学習状況調査において、前年から伸びた子の割合が89.5となり、県平均より大きく上回った。

#### (2) 課題

- ・各団体との日程調整が難しかった。
- ・児童によるICT活用能力の格差が開いてしまった。





### 1 これまでの取組

#### (1) 草加市役所との連携

「草加市協働のひろば運営会議」に参加している方を講師に迎え、それぞれの方がまちづくりに関わるようになった経緯や活動内容について話を聞いた。「イベントを通じた地域住民の交流」や「文化やアートによる人と人との繋がり」、「ヤングケアラー」など、まちづくりに繋がる様々な話を伺い、草加市のために自分たちでもできることはあるという思いをもたせられた。

また、文化観光課観光交流係の方にも講師として来ていただいた。草加市の観光事業に関わる取組や主催団体など様々な情報を得ることができた。現状の取組にも課題点があることが分かり、解決するための方法を協議していこうという気持ちが高まった。

#### (2) 様々な団体へのインタビューや施設見学

草加市のまちづくりの現状を知るために、「小宮のせんべい」、「草加市スポーツ健康都市記念体育館」、「瀬崎コミュニティーセンター」、「大馬屋」などの団体にインタビューをした。それぞれのこだわりや未来に残していきたいことを聞くことができた。また、「セブンイレブン」や「草加市スポーツ健康都市記念体育館」を見学し、草加市をよりよくしようとしながら、様々な活動を行っていることを知ることができた。

#### (3) 獨協大学の学生とエコたわし作り

家庭科「クリーン大作戦」で学校をきれいにした経験から、さらにエコにも気をつけてきれいにする方法はないかと考える児童がいた。まちづくりについて研究している獨協大学生と連携を図り、エコたわしを作った。学校の水道掃除や黒板の粉受掃除に使い、洗剤を使わなくてもきれいにできることを実感することができた。また、「ふれあいひろば瀬崎」へ参加し、エコたわしづくりの体験コーナーを設け、広める実践を行った。

### 2 成果と課題

#### (1) 成果

- ・フィールドワークを効果的に取り入れることにより、草加市の現状をより深く知るとともに、児童の「知りたい」「学びたい」意欲をより引き出すことができた。
- ・児童主体となって学習を進めることにより、地域の一員としての自覚をもつことができた。
- ・埼玉県学力・学習状況調査において、前年から伸びた子の割合が83.9となり、県平均より大きく上回った。

#### (2) 課題

- ・インターネットへの依存性が高く、課題解決の手段が単一的である。
- ・現状から課題を発見する能力が低く、調べたことをもとに新たな課題へ繋げることが難しい。
- ・目的や場面に応じた調べ活動の経験不足。



### 1 これまでの取り組み

#### (1) SDGsについて知り、興味のある事柄について調べる

- ・総合的な学習の時間を使い「SDGsについて自分のできることを考えよう」を目標を立てて学習を進めた。
- ・SDGsについての本やNHKの動画やユニセフのワークシートを活用しながら、これまで学習したことを思い出しながら、自分の興味や生活に関わる項目を選び学んだことを、ポスターやかるた、すごろくにして学校全体や地域に広める活動を考えた。
- ・考えをまとめ、スライドを作成し、ひまわり学級内で発表した。
- ・考えを広めるために掲示物を作成し、廊下や外掲示板に掲示して全校に考えを発信した。

#### (2) 自分たちにできることを考えて、実行する

- ・「海の豊かさを守ろう」に関連して、身の回りのプラスチック製品について調べ、お菓子の袋やペットボトルのラベルを使って壁画を制作した。
- ・「つくる責任つかう責任」に関連して、着古したTシャツを再利用してエコバッグを製作した。

### 2 成果と課題

#### (1) 成果

- ・書籍やICTを活用し、それぞれが興味を持った目標についての問題点や課題点を考えグループで話し合い発表することができた。一人では難しいことも異学年で協力し、学ぶことで自信が付き主体的な学びへとつながった。
- ・課題に対して具体的に実践する方法を考え発表ができた。
- ・教師主導の学習ではなく、映像やICTを使いながら自分でできることを考えた。（着られなくなった洋服を使い「ナプキンやバッグを作ろう。」や「いらないタオルを使って、雑巾にしよう。」や「ペットボトルキャップを使い世界を救おう～キャップを使い遊ぶ～」）子供も楽しみながら、生活の身近なこととして感じ楽しんで活動ができた。

#### (2) 課題

- ・授業中や制作したその時だけで活動が終わってしまい、日常生活で意識をすることが課題である。



# SDGs川柳① (児童の作品)

学びたい  
学校作ろう  
世界中

買い物で  
持って行こうよ  
エコバッグ

まだ着れる  
着れない洋服  
プレゼント

行動で  
世界を変える  
仲間の輪

商品を  
手前取りする  
大切さ

心の輪  
作っていくのは  
私たち

ライオンを  
平和にさせる  
この世界

森まもろう  
百年先の  
水のため

うきうきと  
キャップを集める  
わたしです

ワクチンは  
みんな協力  
助け合う

守ろうよ  
大きな海を  
いつまでも

生まれ変わる  
思い出の服  
エコバッグ

フルスイング  
折れたバットで  
かつとばし

いろいろな  
人でいいんだ  
なかよしさ

不平等  
みんなでなくそう  
世界中

思いやり  
つながる先に  
SDGs

## SDGs川柳② (児童の作品)

プラゴミを  
もちかえろうよ  
海のため

ちきゅうの  
水はみんなの  
たからもの

節電に  
環境へのやさしさ  
忘れずに

フードロス  
むだなく食べる  
おいしくね

ごみがない  
はなびたいかい  
きれいだな

ジェンダーレス  
〇〇らしさ  
無くそうよ

サステナブル  
うたをうたって  
おぼえたよ

エコライフ  
みんなでまもる  
おんだんか

はみがきを  
しっかりやって  
きれいなは

うみとりく  
ゆたかさをまもう  
いっしょにね

節電で  
地球の体温  
かえようよ

食べのこし  
ゼロを目指すよ  
未来のため

エコキャップ  
せかいをすくう  
おくりもの

守りたい  
世界のために  
リサイクル

はじめよう  
みらいのために  
できること

生ごみは  
ひりょうにできる  
すぐれもの

# 引用・出典・参考文献集

名称	URL	QRコード
文部科学省 授業時数特例校制度	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230605-mxt_kyoiku02-100003066_01.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230605-mxt_kyoiku02-100003066_01.pdf</a>	
国際連合報道 センターHPより SDGs・アジェンダ概要説明	<a href="https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/">https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/</a>	
SDGsの目標 イラスト・文言 日本ユニセフ協会SDGs CLUB より	<a href="https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/">https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/</a>	
文部科学省HPより 持続可能な開発のための教育 ESDとは	<a href="https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm">https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm</a>	
文部科学省HPより 持続可能な開発のための資料 推進の手引き	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210528-mxt_koktou01-100014715_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210528-mxt_koktou01-100014715_1.pdf</a>	
学習指導要領におけるESD関 連の記述	<a href="https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339973.htm">https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339973.htm</a>	
 今、求められる力を高め る総合的な学習の時間 の展開小学校編	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20210729-mxt_kouhou02_1.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20210729-mxt_kouhou02_1.pdf</a>	
 今、求められる力を高め る総合的な学習の時間 の展開中学校編	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20220426-mxt_kouhou02-2.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/20220426-mxt_kouhou02-2.pdf</a>	
瀬崎小学校HP	<a href="http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/">http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/</a>	
学校だより	<a href="http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/tayori.html">http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/tayori.html</a>	
校長エッセイ	<a href="http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/r5_aisatsu.html">http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/r5_aisatsu.html</a>	
瀬崎小学校ブログ	<a href="http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/R5_blog.html">http://www.sokastm.ed.jp/sezaki-syo/R5_blog.html</a>	